

機器開発&コンサルの実務者が指南する!

IEC 60079シリーズに準拠した 防爆安全設計と防爆エンジニアリング

～国際規格にもとづく安全設計から設備エンジニアリング、防爆申請・認証まで～

日時 2017年 **3月7日(火)** 10:00～17:00

主催  日刊工業新聞社

会場 新大阪丸ビル別館 3-1A号室
(大阪市東淀川区)

受講料 **43,200円** (講義資料、昼食含む、消費税込)
※1社複数名のご参加の場合、2人目より10%割引いたします(38,880円)。
※書籍「国際規格に準拠した防爆電気機器の安全設計とエンジニアリング」を進呈!

大阪会場 (新大阪丸ビル別館 3-1A号室)

大阪市東淀川区東中島1-18-2 新大阪丸ビル別館3-1A号室
TEL: 06(6325)1302
JR新大阪駅東口より 徒歩2分
地下鉄御堂筋線新大阪駅⑤、⑥番出口より 徒歩8分



新大阪丸ビル別館 3-1A号室

大阪市東淀川区東中島1-18-2 新大阪丸ビル別館3-1A号室

●申込方法

申込書を郵送またはFAXにてお申し込み下さい。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。参加料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの参加料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担下さい。

口座名 株式会社日刊工業新聞社 大阪支社

- りそな銀行 大阪営業部 当座 403545
- みずほ銀行 天満橋支店 普通 570519
- 三菱東京UFJ銀行 谷町支店 当座 10186
- 三井住友銀行 天満橋支店 当座 260820

●申込先 日刊工業新聞社 大阪支社 事業出版部 セミナー係

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
☎ 06-6946-3382 FAX 06-6946-3389
<http://www.nikkan.co.jp>
seminar-osaka@media.nikkan.co.jp

キリトリセン

参加 申込書	3/7 防爆安全設計と防爆エンジニアリング		お申し込みは FAX 06-6946-3389
■参加料: 43,200円 (講義資料、昼食含む、消費税込) ※同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円			
会社名			業種
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL:
所在地	〒		FAX:
E-mail:			
※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。			

※お申込み受付後、参加票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた参加料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。
個人情報の取り扱いについて
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
尚、宛先変更・配信停止をご希望の際は、右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkans.co.jp

開催主旨

防爆技術は、新興国へのプラントの進出や関連設備の輸出を背景に、ますます国際化への対応が必要となってきています。このような情勢のなか、ようやくわが国でも防爆の国際規格であるIEC 60079シリーズの最新版に整合した**技術的基準が採用**され、2015年8月31日に**通達(基発0831第2号)**が発出されました。今後より一層の防爆電気機器の技術開発ならびに海外への設備移転や輸出を期すうえで、IEC 60079シリーズの早急な理解が求められています。

本セミナーでは、防爆電気機器の開発および防爆設備のコンサルテーションを手がける実務者が、IEC 60079シリーズにもとづく**防爆電気機器の安全設計から開発申請および防爆設備のエンジニアリング**まで、実務に役立てられるようやさしく解説します。

具体的には、防爆の国際規格と各国の動向、爆発の防止と**防爆エンジニアリングの実際**、**防爆電気機器の設備への適用例**、IEC 60079シリーズにもとづく**防爆安全設計**、**防爆認証のための評価試験と申請要領**などを紹介します。

防爆電気設備、防爆電気機器に関わる設計者やエンジニア、評価試験や申請担当者など幅広い方の参加をお奨めします。

講師

IDEC株式会社 防爆・システム事業部 防爆企画開発部 **上野 泰史 氏**

【略歴】 1992年、和泉電気株式会社(現IDEC)に入社。操作表示機器、制御安全機器の設計開発を経て、国内初のATEX(欧州防爆)指令に対応した耐圧防爆構造操作機器の開発をはじめ、安全増防爆構造コントロールボックス、本質安全・耐圧防爆構造タッチパネルなど多くの防爆機器の開発に従事する。現在、防爆企画開発部部長として防爆事業を推進する。一般社団法人 日本電気制御機器工業会 防爆委員会 委員長。IECExシステム国内審議委員会 委員。第31小委員会(IEC/TC31,SC31s対応)委員。

日本認証株式会社 セーフティアセッサ **有山 正彦 氏**

【略歴】 IDEC株式会社 国際標準化・知財推進センターを経て、2014年より日本認証株式会社に移籍し、複合事業推進担当部長として防爆コンサルティングやセミナーを担当する。一般社団法人日本電気制御機器工業会、制御安全委員会委員。セーフティアセッサ。

プログラム

1. 防爆国際規格と各国の対応

- 1-1 防爆国際規格IEC 60079シリーズ
- 1-2 IEC/TC31およびIECExシステム
- 1-3 各国の防爆規制と適用規格

2. 爆発の防止と防爆電気機器

- 2-1 爆発はなぜ起こるのか
- 2-2 防爆電気機器とは
- 2-3 爆発の防止と保護構造
- 2-4 爆発性雰囲気と防爆電気機器の分類

3. 国際規格にもとづく防爆安全技術

- 3-1 防爆電気機器の一般要件
- 3-2 防爆電気機器の仕様と評価試験
- 3-3 保護構造ごとの設計要件、形式試験、防爆認証事例(耐圧防爆、内圧防爆、安全増防爆、油入防爆、本質安全防爆ほか)

4. 防爆エンジニアリング

- 4-1 防爆エンジニアリングのプロセスと規格
- 4-2 リスクアセスメントと保護方策
- 4-3 危険区域の分類手順と決定、判定例
- 4-4 防爆電気機器の設置
- 4-5 防爆電気機器の施工と配線、実際例
- 4-6 防爆電気機器の点検・保守と効果

5. 防爆認証のための申請システム

- 5-1 防爆申請と認証システム
- 5-2 申請要件
(設計製品仕様・製品評価、試験項目)
- 5-3 国内防爆と海外防爆